

平成30年度後半の活動

岩槻まちの戦略会議（若手の商業者と人形協同組合員が意見を言う場）の運営により、昨年引き続き2回目のちょっと市を開催しました。また、岩槻・人形文化サポーターズとの協働による人形文化の普及・伝承を目的としたイベントを開催しました。

1. 岩槻まちの戦略会議

平成29年度までの岩槻まちの戦略会議のディスカッションを踏まえて、「人形のまち岩槻」を歩いて楽しい街にするために、今年度の事業として、以下の事業を実施しました。

① 岩槻ちよつと市の開催（節句文化）

まち歩きの中で「ちょっと休める場所」をコンセプトに、昨年度まちかど雛めぐりにあわせて実施した岩槻ちよつと市について、今年度も引き続き同時期に同場所にて開催しました。

食べ物が中心であった昨年度と比べ、今年度は岩槻人形協同組合の協力により、人形店2店舗に出店してもらいました。更に東部地域・鉄道戦略部主催のワークショップ参加者が考案した岩槻のお土産が試作販売されました。

開催日：平成31年2月24日（日）

来場者数：1, 122人



ちよつと市開催風景



お土産試作販売



人形・小物販売



人形・小物販売

② マップ作り

地域アイデンティティを形成する手段として、岩槻のまちの活性化の手段として、「今よりも元気だったころの岩槻」をテーマに、戦略会議メンバーの印象に残っている人形制作風景（首串の刺さった巻き藁）など、「人形のまち」としての写真やイラストを載せたマップの作成を進めるため、岩槻人形博物館の開館に合わせて配付できるよう、マップの方向性などの議論を重ねました。

③ 報告会の開催

平成31年3月12日に「岩槻まちの戦略会議平成30年度報告会」を開催しました。岩槻区長を始め、岩槻区役所の職員を対象に、岩槻まちの戦略会議のメンバーである若手の商業者や人形協同組合員が、岩槻人形博物館の開館を契機としたまちの活性化に向け、これまでの取組や今後の取組について報告をしました。



報告会の様子



発表者

2. NPO法人岩槻・人形文化サポーターズとの協働

人形文化の普及・伝承を目的として引き続き以下の活動を行いました。

【五節句イベントの企画・運営】

主な取り組み：五節句の定着

五節句をユネスコに登録する動きがある。人形と密接に関連している節句の行事について岩槻には実績があり、「五節句のまち岩槻」にするために、事業展開し、一層の実績を重ねていく。事業案は以下のとおりである。

- ① 人日（じんじつ）：1月7日 七草の節句
 - ・クレセントモールで芋煮会のように七草粥をふるまう。
- ② 上巳（じょうし）：3月3日 桃の節句
 - ・全国に70以上ある雛めぐりの中で岩槻が最も古い。
- ③ 端午（たんご）：5月5日 菖蒲の節句
 - ・現状では人形店が主体。和菓子屋や料理屋とも関係が深い。
- ④ セタ（たなばた）：7月7日 笹の節句
 - ・クレセントモールで短冊をお願いごとを書いてもらい、駅前広場に飾る。（吊るし飾りも加える）
- ⑤ 重陽（ちょうよう）：9月9日 菊の節句
 - ・岩槻では今回で4回目の開催。集客力が高まってきている。

① 1月13日：人日の節句イベント



だるまの顔書き体験



イベントブース内の様子